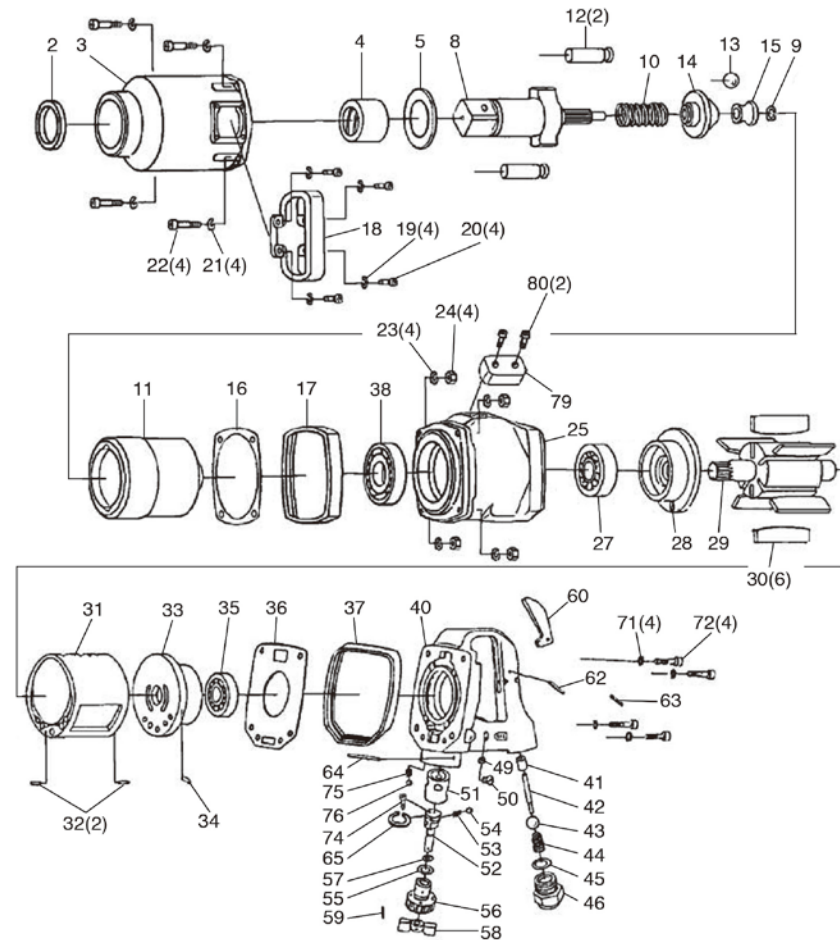


部品分解図

SP-6500

38(1-1/2")mm角 インパクトレンチ



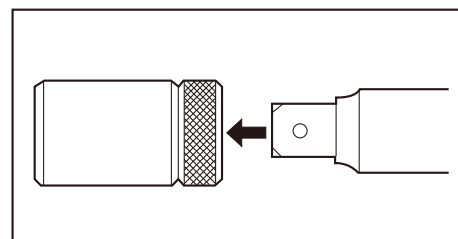
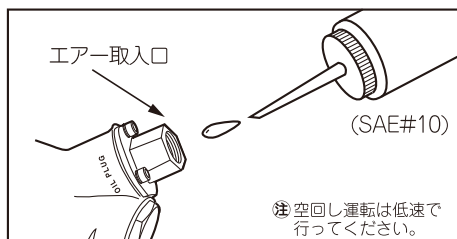
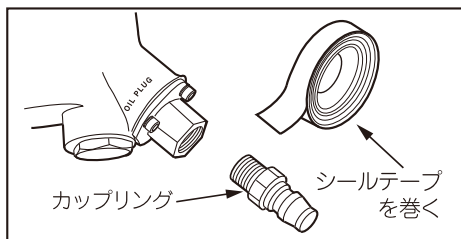
パーツリスト

番号	パーツNo.	名称	個数
2	6500-02	オイルシール	1
3	6500-03	ハンマーケース Assy(②,④含む)	1
4	6500-04	ハンマーケースプッシング	1
5	6500-05	スラストワッシャー	1
8	6500-08	アンビル	1
9	6500-09	ストップリング	1
10	6500-10	カムスプリング	1
11	6500-11	ハンマーケージ	1
12	6500-12	ハンマーピン	2
13	6500-13	スチールボール	1
14	6500-14	カム (ドリバー)	1
15	6500-15	ボールガイド	1
16	6500-16	ハンマーケースバックイン	1
17	6500-17	フロントプロテクトラバー	1
18	6500-18	デッドハンドル	1
19	6500-19	スプリングワッシャー	4
20	6500-20	Hex. ボルト	4
21	6500-21	スプリングワッシャー	4
22	6500-22	Hex. ボルト	4
23	6500-23	スプリングワッシャー	4
24	6500-24	Hex. ナット	4
25	6500-25	モーターケース Assy	1
27	6500-27	ボールベアリング	1
28	6500-28	フロントエンドプレート	1
29	6500-29	ローター	1
30	6500-30	ローダーブレード	6
31	6500-31	シリンダー Assy(③,⑤含む)	1
32	6500-32	スプリングピン	2
33	6500-33	リヤエンドプレート Assy(③③,③④含む)	1
34	6500-34	スプリングピン	1
35	6500-35	ボールベアリング	1
36	6500-36	モーターケースバックイン	1
37	6500-37	リアプロテクトラバー	1
38	6500-38	ボールベアリング	1
40	6500-40	フレームハンドル Assy(④①~④⑤, ④⑦~④⑩含む)	1
41	6500-41	スロットルプッシング	1
42	6500-42	スロットルピン	1
43	6500-43	スロットルバルブ	1
44	6500-44	スロットルスプリング	1
45	6500-45	O-リング	1
46	6500-46	インレットプッシング	1
49	6500-49	O-リング	1
50	6500-50	オイルプラグスクリュー	1
51	6500-51	バルブプッシング	1
52	6500-52	リバースバルブ Assy(⑤③,⑤④,⑤⑤含む)	1
53	6500-53	スプリング	1
54	6500-54	スチールボール	1
55	6500-55	O-リング	1
56	6500-56	アジャストバルブ	1
57	6500-57	O-リング	1
58	6500-58	リバースレバー	1
59	6500-59	スプリングピン	1
60	6500-60	アウトサイドレバー	1
62	6500-62	スプリングピン	1
63	6500-63	ニードルピン	1
64	6500-64	スプリングピン	1
65	6500-65	ストップリング	1
71	6500-71	スプリングワッシャー	1
72	6500-72	Hex. ボルト	4
74	6500-74	Hex. ボルト	4
75	6500-75	スプリング	1
76	6500-76	スチールボール	1
79	6500-79	エグゾーストラバー	1
80	6500-80	Hex. ボルト	2

改良のため、仕様を変更する場合があります。

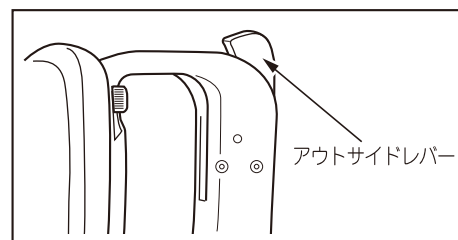
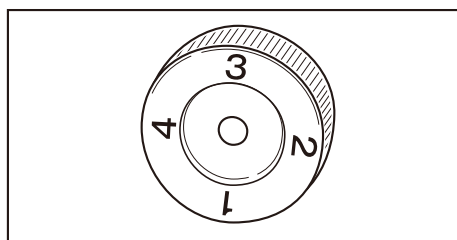
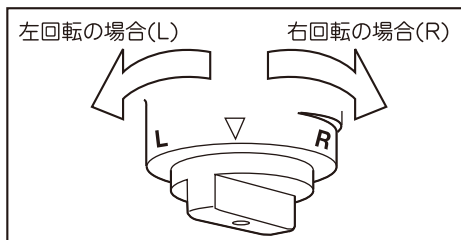
ご使用方法 SP-6500

1. カップリングのネジ部にシールテープを巻きつけ、エアもれのないように、エア取入口にしっかりと取り付けて下さい。
2. 作動前にエア取入口より、スピンドル油が、タービンオイルを数滴入れて、軽く空回し運転を行い、可動部分に油をなじませて下さい。
3. 給油が終わったら、いったんエアホースを取り外し、インパクトソケットをしっかりと装着して下さい。



4. 作業に入る前に、正(右)回転か逆(左)回転かを確認して下さい。
5. 用途に応じて、エアレギュレーターでトルクの調節(4段階)を行って下さい。

6. スロットルレバーは押しと回転し、離すと止まります。押し具合により、スピードの微調整ができます。



SP-6500 ⚠ 取扱上のご注意

- 絶対に、ハンドツール用のソケットや当社推奨以外のソケットは使用しないで下さい。
- 能力を超える作業は絶対にしないで下さい。
- ソケットはアンビルやボルトにぴったり合ったものを正しく取り付けて下さい。摩耗したり、亀裂のあるものは絶対に使用しないで下さい。ソケットの交換はカップリングによりエアホースを外して行って下さい。